

地域の歴史② 東京最後の大空襲

加藤利雄

昭和16年12月に始まった太平洋戦争は、初戦こそ日本が優勢を極めていたが、彼我の国力の差は如何ともしがたく、戦線のあらゆるところで次第に連合国に押されるようになってきた。昭和19年ごろになると本土空襲が現実のものとなり、国民はその備えとして種々の対策を実施せざるを得なくなった。その一つが各家庭における防空壕の設置である。それぞれの家の庭に幅約1メートル長さ約1.5メートル、深さ約1.2メートル程度の穴を掘り、土砂で覆い、警戒警報が鳴ると貴重品を搬入したり、人間も避難できるようにした。庭のないお宅では道路に設置することも許され、現在の夏目坂通りには10数個の防空壕ができた。大規模な避難用の防空壕として喜久井町の坂の上にある早稲田大学理工学研究所の下に横穴式の防空壕が昭和19年夏に建設することになった。出入口を早稲田通りと喜久井町側に設けたし字型である。喜久井町側の出入口口と夏目坂通りを結ぶため、間に建てられていた10数軒の長屋が強制的に取り壊され、避難誘導路にすると同時に掘り出した土砂の集積場にした。筆者も中学2年生の夏休みの時に何日か町会に動員され、掘り出した土砂を運ぶためモッコを担いだ経験がある。入り口には爆風除けのための防護壁が設けられていた。

翌20年になると空襲の逼迫感がさらに強まり、類焼防止のため江戸時代にあった火除地を東京に数多く作るようになった。すなわち、ある規模のエリアの住宅を強制的に取り壊し(強制疎開)更地にするものである。神楽坂通りの大久保通りに面した一角もその対象となった。筆者は、学校からの勤労働員で2月の数日間、東京瓦斯に派遣さ

れ、取り壊す前の家屋に入ってガスのメーターボックスを取り外し、大八車に載せて現在の牛込消防署近くにあった営業所に運んだ。メーターボックスは鉄製であるから砲弾など兵器の材料にするためである。無人となった家屋の戸障子を取り外し、メイソンの柱の下部に鋸の目を入れ、その柱の上部にロープをかけ、大勢の人間がそれをつっ張って壊す様子はまさに壮観であった。このような状況下で、後に下町の大空襲と言われた3月10日を迎える。筆者は学校の近くに住んでいたため、学校防衛隊に組織され、警戒警報発令と共に早稲田中学へ駆けつける。

先生方と状況監視のため屋上に上がり、サーチライトや高射砲の弾列、戦闘機の攻撃を尻目にB・29爆撃機が油脂焼夷弾を投下するのを傍観していた。そのうち火の手が上がり東の空は真っ赤に染まり、時々炎の先端も見えた。この空襲で本所、深川方面の下町を中心に一面の焼野原になり、罹災者100万人以上、死者10万人以上の被害が出た。神楽坂周辺も同時に罹災したが、火除地の効果があったようで西側は類焼を免れる。東京瓦斯の営業所も被災し我々が集めたメーターボックスは跡形もなくなっており無常を感じた。

更に戦況は厳しくなり、筆者は母、妹と父の実家(山形県鶴岡市の在)へ4月末に縁故疎開したので、5月25日の東京最後の大空襲は直接体験してはいない。B・29爆撃機が470機来襲し、死者3651名、焼失家屋16万6千戸の大被害が出た山の手大空襲である。東京に残った父は、警防団団員であったので消火活動に従事したが、到底手におえ

ないほどの勢いで、横穴式防空壕に避難しようとしたが、すでに満員で入る事が出来なかった。止むを得ず早稲田大学のキャンパスに避難し、結果的に一命を取り留める事が出来た。焼け跡が一番安全だと父親から教えられていた小学生だった筆者の友人は、迷うことなく焼け跡だった目白台方面に避難して無事だったとのことである。先に防空壕に避難した家族は命を落としたが、遅れたため防空壕に入らず西早稲田方面へ避難して難を逃れたという家族もある。火災が大規模であったため、両方の出入口の外は火の海となり、中に避難した方々が出るに連れず、300余名全員が煙にまかれて窒息状態になって命を落とされた。山の手大空襲による死者の一割近くがこの防空壕での罹災者という事になる。数日かけて死体を運びだし、衣服に縫い付けてある名札から氏名を確認して、丁寧に荼毘に付したとのことである。

昭和30年5月罹災10周年を迎える当たり早稲田大学は、これらの人々の霊を慰め、永遠の平和を祈願するため、防空壕の上に観音像を建立し、以後毎年5月25日に喜久井町町会と合同で慰霊祭を挙行している。また、喜久井町の有志と感通寺住職は、昭和52年5月に感通寺境内に喜久井町観音を建立し、防空壕犠牲者を含めた戦災犠牲者の供養をしている。大学での慰霊祭の後引き続き喜久井町観音像の前で慰霊祭を行い、近隣町会の方も参列いただいている。戦後70年を過ぎ戦争の記憶は次第に薄れつつあるが、この慰霊祭に多くの方々が参列することにより、戦災の悲劇が語り継がれ永遠の平和が維持されることを祈念したい。



喜久井町観音



早稲田大学キャンパス内観音像

第44回

のんびり遊ぼう会

『子どもの国』に行ってみよう

のんびり遊ぼう！

『子どもの国』

広大な広場の花壇は四季折々の花で彩られ、様々な模様を描き出しています。

大人も利用できるアスレチック広場やローラーすべり台やジャングルジム、谷川渡りなど、楽しい遊具がいっぱい。

「おとぎの広場」や「ちくがき広場」などで思う存分遊びましょう。

● 実施日：11月1日(日)

● 集合：午前8時10分

鶴巻南公園

● 行き先：こどもの国

横浜市青葉区奈良町

● 参加費：大人 1600円

高校生以下 無料

● 申込み：10月19日(月)までに

参加費を添えて

榎町特別出張所に

お申し込みください

* 申込み等の詳細については、町会の掲示板をご覧ください。

主催 早稲田地区青少年育成委員会

榎町地区町会連合会

榎町特別出張所

地区内小学校対抗



ドッジボール大会

牛込仲之小学校、江戸川小学校、鶴巻小学校、早稲田小学校の小学生の皆さん、「ドッジボール」の試合に出場してみませんか。出場選手を募集します。優勝をめざし、がんばってください。

ご家族、地域の皆さん、会場での応援をよろしくお願いします。

● 日時：11月29日(日)

午前9時～12時

雨天時は体育館で実施

● 会場：鶴巻小学校

体育館(低学年)

校庭(高学年)

* 出場申込み

11月初旬に学校から配布される

申込み書に必要事項を記入して

お申し込みください。

* 右記の4小学校以外の学校に通い、

出場を希望する児童は、学校名、学

年、氏名、住所、連絡先、希望チーム

を記載の上、左記のFAX番号へお

申し込みください。

Fax(3269)3090 浦野

主催 早稲田地区青少年育成委員会

協力 スポーツ推進委員

榎町特別出張所

みんなで観よう

楽しい人形劇

子どもの心を豊かに育む『人形劇』を上演します。今回は絵本でおなじみの「あかずきんちゃん」です。

悪いオオカミや優しいおばあさんも登場します。

ご家族やお友だちを誘って、皆で観に行きましょう！

● 日時：12月12日(土)

開始 午後1時30分

終了 午後3時頃

● 会場：榎町地域センター4階

多目的ホール

● 入場無料：幼児から大人まで、どなた

でもご覧になれます。

申込みは要りません。



● 冬休みを安全に過ごそう！

子どもたちのための「交通安全・防犯

教室を人形劇の前に行います。

主催 早稲田地区青少年育成委員会

協力 牛込警察署

スポーツ交流のお知らせ

● ユニカール 輪投げ

日時：①11月1日(日)

②11月15日(日)

③12月6日(日)

④1月10日(日)

⑤1月24日(日)

会場：榎町地域センター

4階 多目的ホール

● ショートテニス

日時：①11月8日(日)

②12月20日(日)

③1月17日(日)

④⑤ 午後1時～4時

会場：早稲田小学校体育館

● 卓球

日時：11月23日(祝)

午前10時～12時

会場：早稲田小学校体育館

運動しやすい服装で、うわばきを

持参ください。

申込み・参加費は必要ありません

問合せ：黒川孔晴

TEL(3268)1777

主催：わせたスポーツ・文化協議会





早稲田地区青少年育成委員会

牛込二中えんにち

8月23日(日)、牛込第二中学校にて「牛込二中えんにち」を開催しました。

この催しは、牛込第二中学校の実行委員の生徒たちが企画から実施までを担当し、地域の皆さんに夏休みの思い出となる縁日を楽しんでもらおうという目的で行われました。幼児からお年寄りまで、229名の大勢の皆さんが集まりました。かき氷やソースせんべい、ホットケーキ、ポップコーンの模擬店、ボーリングやヨーヨーのゲームなどが盛況でした。また、自分で絵付けしたり、シールを貼って作るうちわや布バッグ、風車の手作りコーナーにも人気が集まり、縁日気分をいっそう盛り上げました。



協力 牛込第二中学校
榎町子ども家庭支援センター



子ども防災キャンプ

9月6日(日)、鶴巻南公園、牛込消防署早稲田出張所、榎町地域センターを会場に、第7回「子ども防災キャンプ」を開催しました。子どもは26名、保護者や協力団体など併せて86名が防災訓練に参加しました。

- 1 消防車の見学・消防服の試着
- 2 水消火器・小型ポンプの扱い方
- 3 応急給水施設の見学
- 4 地震体験車での震度5の揺れを体験
- 5 AEDの扱い方
- 6 消防署への通報訓練
- 7 非常食アルファ米の作り方と試食

と、さまざまな防災に関することを親子で学び、経験しました。また、牛込警察署の署員から、日常での交通安全や自身を守る防犯に関するお話も聞きました。

これを機会に、子どもたちが地域の防災訓練にも積極的に参加できれば良いと思います。



協力 牛込消防署 早稲田消防出張所
牛込消防団第三分団 牛込警察署
新宿区危機管理課 榎町特別出張所

江戸小 本の森ボランティア



江戸川小学校地域協働学校の図書支援部も発足してから3年目になりました。

メンバーはPTAと地域の人たちで約10人です。一番最初の活動は図書館の壁に大きな壁画を作ることから始まりました。本の森ボランティアという名前に相応しく、大きな森をイメージした壁画です。布にマジックテープを付けて、四季に合わせて色とりどりの花を付け替えます。子どもたちが目を輝かせて来なくなるような図書館を目指しています。

壁装飾の他にも本の整理、保護カバー付けなどもしていますが、メンバーが活動の中で最も楽しみにしているのは、子どもたちへの本の読み聞かせです。各クラスに一人づつ入るので、本を開く直前まで果たして子どもたちが集中して聞いてくれるだろうか不安と緊張を抱きながら読ませて頂いています。そんな気持ちを知ってか知らずか?ただ静かに聞くだけではなく、面白い場面は笑い声が聞こえたり、ドキドキする場面は声が出たりと反応が返ってきて楽しいです。また廊下ですれ違った時など、「本が面白かった!」「また読んでね!」とか「読んでくれて、ありがとございます。」などと声を掛けてくれます。それが嬉しくて次回は何を読もうかとほりきります。

本の読み方は各々個性的で、導入の説明が上手な人、演じ方が上手な人や穏やかな話し方が素敵なお人などそれぞれの個性がキラリと光っています。読み聞かせの練習の時にいつもみんなの本を聞き合おうので、素敵な本にたくさん出会います。ときにはほろりと涙したり、考えさせられたり、児童書にも素晴らしい本がたくさんあることに気付かされます。

メンバーと楽しくおしゃべりしながら作業したり、本を聞き合おうのは、私にとって最高の癒しになっています。このような機会に巡り会えたことに感謝しつつ、これからも誰かの為に何か出来たらという思いで活動をしていきたいと思っています。

早稲田OBの山口瑠伊君 U17およびU18日本代表に選出

FC早稲田は、早稲田小や牛込二中を主な練習場とする、「サッカー大好き少年・少女を育てる」を合言葉に、幼児から小・中学生の少年少女サッカーチームで、高校生・社会人も参加しています。榎地区の子どもの多いですが、単筈地区、戸塚地区、落合地区などからも沢山の子ども達が参加しています。

山口瑠伊君は、千代田区の「リセ・フランコ・ジャポネ」に通っていましたが、2年から6年までFC早稲田に入部し、仲良く練習していました。

第22回バツラフ・イェジエク国際ユーストーナメントにU17日本代表として参加。

昨年、FC東京U18からフランスの一部リーグFCロリアンに移籍したGK山口瑠伊選手がU17日本代表チームに召集され、静岡の練習から合流しました。チエコで行われた大会にはグループリーグ戦4試合中3試合に先発出場。

先日も二中と早稲田小のグラウンドに来てくれ、練習中のFC早稲田の後輩を激励してくれました。(10月2日からラオスで始まる16年開催のU19選手権アジア予選のU18日本代表にも選出されました。)



FC WASEDAのHP <http://fcwaseda.web.fc2.com/>

町連防災倉庫落成式



平成27年9月2日(水)正午から榎町地区町会連合会の防災倉庫の落成披露式が開催されました。当日は晴天の中、各町会長及び各町会の防災部長のほか、牛込消防署長、牛込消防団副団長、シャロームみなみ風の施設長、新宿区都市計画部住宅課長、榎町特別出張所長等大勢の方々が御列席されました。新宿区長は、御公務の都合で御臨席賜ることはできませんでしたが、「今回落成した防災倉庫を平時から地域の拠点として活用なされることで、榎町地区町会連合会の活動がますます盛んになり、「人によさしい榎のまちづくり」が一層進展されますことをますます期待しております。(抜粋)との温かくも力強い挨拶文が寄せられ、榎町特別出張所長により代読されました。

榎町地区町会連合会の防災倉庫は、災害用資機材の保管場所としての機能のほか、災害時には地域本部が立ち上がるまでの間の情報収集の拠点としての機能も期待されています。また、榎町地区町会連合会が実施する防災訓練時には、地域の拠点として積極的に活用を図る予定です。

若者の選挙に関する意識調査を行いました

榎町地区の明るい選挙推進協議会委員及び明るい選挙推進委員が、平成27年7月に地域の16歳から27歳までの若年層69名(男性40名女性29名、平均年齢19.9歳)に向けてアンケートを実施しました。アンケートの結果は次のとおりです。

1 あなたは、18歳から投票ができるようになったことを知っていますか。 はい 64名 いいえ 5名

2 あなたは、これから選挙があったら投票に行こうと思いますか。
 (1)すでに選挙に行ったことがある。 (2)まだ選挙に行ったことがない。
はい 18名 いいえ 7名 はい 30名 いいえ 14名

3 今、若い世代の有権者の選挙離れが深刻になっています。平成26年12月に行われた衆議院議員選挙(小選挙区)では、20代の平均投票率は31.27%でした(全体平均52.72%)。その理由は何かと思いますか。(複数回答 可)

①家庭で日常的に選挙や政治の大切さを話し合う	13件	⑤【その他】(抜粋)
②学校教育の中で政治や選挙の大切さを教える	39件	・インターネットの活用(同意見2件)
③国や自治体が活発な啓発活動を行う	18件	・誰が当選すればどのような社会になるか、分かりやすくすること
④若者の考えや意見を発信する場を作る	27件	・投票したいと思う環境が大事。大学や職場等で投票できれば周囲の目もあるので進んで投票する人が増えると思う

4 若者の投票促進のためには、どんなことが必要だと思いますか。(複数回答 可)

①	政治に関心や興味を持っていないから	52件
②	政治に対して不満や不信があるから	13件
③	投票したい候補者や政党がないから	36件
④	自分が投票してもしなくても何も変わらないと思っているから	53件
⑤	仕事が忙しく投票する時間がなかったから	9件
⑥	選挙より重要な用事があったから	6件
⑦	【その他】	
	・行くのがめんどろ ・なぜ、選挙に行くのかきちんと教わっていない	
	・わからない ・組織票による工作	

5 あなたは、投票所がどこにあれば投票に行こうと思いますか。(複数回答 可)

場所	学校	地域センター	図書館	コンビニ	駅	勤務先	その他
件数	13件	11件	15件	35件	18件	15件	インターネット 4件 家の近く 1件

6 政治や選挙に対してどのようなイメージを持っていますか。自由にご記入ください。(抜粋)

言葉が難しい、子どもの入る余地がない	選挙に行っても行かなくても、変わらない	マニフェストを上げるだけで、実行に移らないイメージ
話が堅苦しい(同意見3件)	わかりにくい(同意見3件)	学校での授業に政治のことがなく、あまり親しみがない
選挙結果が政治に反映されている実感がわからない	難しい、自分の一票で何かが変わるとは思えない	もっとわかりやすく報道すれば、小さいうちから関心を持ったと思う
重要な法案や案件ほど、政治家だけで決めるため、国民が政治に参加しているという認識が持てない		自分の周囲では、政治や選挙に興味が少ないのが現実だ

新宿山吹高等学校 部活動の実績

東京都立新宿山吹高等学校では、日頃の部活動の成果をいかに発揮し、次のような素晴らしい成績を収めました。おめでとうございます。

囲碁部

- 全国高等学校文化連盟主催 全国高等学校総合文化祭 (於・滋賀県)

- 男子個人優勝(文部科学大臣賞) 東京都団体2位(文化庁長官賞) (本校の女子生徒が主将。)

- 外2名は他校の男子生徒 日本棋院主催全国高校以後選手権大会(於・東京都)

- 男子個人3位
- 女子個人3位
- 男子団体5位

自転車部

- 全国高等学校定時制通信制体育大会(於・静岡県) 団体優勝(文部科学大臣杯・厚生労働大臣杯)

バスケット部

- 全国高等学校定時制通信制体育大会 (於・東京都)
- 全国ベスト8

バトミントン部

- 全国高等学校定時制通信制体育大会 (於・神奈川県)
- 東京都男子団体3位 (本校1名外5名)

卓球部

- 全国高等学校定時制通信制体育大会 (於・東京都)
- 男子シングルス2回戦進出

高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

14

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします

① 平成27年度牛込地区高連 福祉演芸大会

平成27年6月24日(水)新宿区牛込笹塚区民センターにおいて開催され、牛込地区のクラブおよび地域交流館から21組が参加しました。

榎地区からは次のクラブが参加し、日頃の練習の成果を披露しました。(出演順)
・フォークダンス 原一あゆみ会8名。

・新舞踊 弁天町和老クラブ5名

・合唱 早稲田長寿会6名、西鶴クラブ7名、山吹会8名、柳町すみれ会14名、早稲田永楽会12名。(資料提供：牛込高齢者クラブ連合会)

② 平成27年6月現在、榎地区には20の高齢者クラブが活動しています。(左表参照)

皆さんもお近くのクラブに入会して生活に彩を添えてみませんか。

近隣に住まう仲間としてお互いに楽しく助け合って活動しませんか。

○入会資格 区内在住の58歳以上の方

○入会の相談先

・区役所 高齢者福祉課 高齢者事業係

・近隣の高齢者クラブ役員、会員

(ご不明の場合には、お近くの町会役員にお問い合わせ下さい。)

えのき地区高齢者クラブ一覧表

クラブNo.	クラブ名	対象地域
22	榎町友の会	榎町、東榎町
23	原一あゆみ会	原町一丁目
24	水の原クラブ	原町三丁目
25	白寿会	喜久井町
27	弁天町和老クラブ	弁天町
29	山吹会	山吹町
30	早稲田クラブ	馬場下町、早稲田町
31	西鶴クラブ	鶴巻町西町会
32	早稲田長寿会	鶴巻町南町会
33	早稲田永楽会	鶴巻町北町会
34	第一友鶴会	鶴巻町東町会東部
35	第二友鶴会	鶴巻町東町会西部
125	薬王寺第一長寿会	市谷薬王寺町 1~60、79~85
126	薬王寺第二長寿会	市谷薬王寺町 63~78
127	牛込心友会	天神町
130	あかぎ友の会	赤城下町
141	原二わらく会	原町二丁目
147	新宿区盲老人六ツ星会	新宿区全域
148	柳町すみれ会	市谷柳町
157	早南クラブ	早稲田南町

第14回 榎町地域 センターまつり

日時：10月25日(日)

午前10時～午後4時

会場：榎町地域センター(全館)

4階：多目的ホール

オーブニングセレモニー・和太鼓

夏目漱石暗唱コンクール表彰式

子ども達・登録団体のダンス、舞踊

ビンゴゲーム大会

3階：子ども遊びコーナー

おもちゃ病院・手作りコーナー

健康チェック・こみ分別エコクイズ

2階：指圧・漱石山房・明るい選挙

建物耐震・WEバスポ

お茶席・日赤・地区協ハネル展示

えのき文芸展示

1階：沼田市物産販売・野菜販売

肉まん・花鉢販売

地階：模擬店販売・休息所

展示と遊びコーナー

焼き菓子販売・包丁研ぎ

育成会ハネル展示

*皆様のご来場を心よりお待ちしております。

地域センターからのお知らせ

そば打ち教室

日時：11月19日(木)

午前10時～12時

午後1時～3時

募集：12とも各6名

場所：榎町地域センター3階 調理室

参加費：1000円

申込み：参加費を添えて 榎町地域センター2階受付にお申し込みください。(先着順)

*エプロン・頭巾・タオル(きれいな物) そばを持ち帰る容器(お菓子の空箱等)をお持ち下さい。

年忘れカラオケ大会

日時：12月20日(日)

午前10時～午後4時

会場：榎町地域センター

4階 多目的ホール

参加費：300円

募集：72名

申込み：11月15日(日) 午前10時より

榎町地域センター 3階

調理室・工芸美術室にて受付

*申込書は10月15日(木)より 榎町地域センター2階受付にて配布

新春えのき寄席

日時：平成27年1月17日(日)

午後3時～5時(予定)

会場：榎町地域センター

4階 多目的ホール

定員：120名

出演：柳家 喜多八

林家 たこ平

*チケットは12月上旬より榎町地域センター2階受付にて販売予定です。

問合せ：榎町地域センター事務局

Tel(3202) 8585

えのき文芸



見上ぐれば頂たわわ銀杏の実

飯田 もと子

百歳の誕生祝う菊日和

加藤 理君

星祭る吾れこの星の過客たり

金澤 誠

秋彼岸僧侶の歩きスマホかな

軽部とみ子

パンパスの白銀の穂や風の梳く

川口 あきを

季節巡り柿食みし妣思ひけり

北村 妙子

そよ風にゆれるコスモス花の波

久根下 和子

孟蘭盆会楽しき集い父母の家

倉林 知子

遠くよりお雛子聞こゆ鰯雲

佐藤 琴美

満月や命ある身のしみじみと

菅原美智子

サッと来てくびすを返す親つばめ

高橋 凡吾郎

山深き平家の里の霧しぐれ

中村 章子

余生にも立つさざ波やいわし雲

原 綾

川柳

ロボットに流れ作業を指示される

知らぬ間に生命線が伸びている

伊藤 三十六

これいいねちよつと借りとこエンブレム

秋風にセツト乱され天睨む

管野 あきら

かけがえの無い人生の今日を生き

遂に逮捕防犯カメラ大手柄

小山 一湖

大人とも子供と言えぬ子どなかな

高橋 凡吾郎

使うかな衝動買いでゴミ屋敷

町神輿女性も担ぎ盛り上げる

田実 孜

雑念は汗で流して山の飯

ビールまだ？サカナ焼く背に妻の声

船山 伸夫

短歌

やり直す事の出来ない人生を

これより先は見直して生く

奥瀬 イチ

きらきらと雨粒光るくもの巣に

秩父の山の風の渡りぬ

倉林 知子



冬の花

サザンカ(山茶花)

ツバキ科の常緑小高木。秋から冬にかけて咲く。園芸品種も多く、一重咲、八重咲、白、淡紅、濃紅などがある。高さは約三メートル。



広報部からのお知らせ

「家族の肖像」「技の伝承」「地域の歴史」の企画記事の情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載する句を募集しています。皆さんの身近にある事柄を「五七五」の句にしてみませんか。次号の俳句のお題は『冬』、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、12月10日(木)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042
新宿区早稲田町85
TEL (3202) 8585
FAX (3202) 2478